

テーマ

地域の生業（なりわい）を盛り上げるために、わたしたち若者はどう考え、何ができるか。

第2回CSA塾では、これからの地域の生業（農業、漁業等）を支える力となる「若者」の皆さんを中心に、それぞれの関わり方の中で、感じたこと、考えていることを話し合う場にしていきます。

プログラム〔予定〕

〔敬称略〕



セッション1

■畑から見えてきた野菜を作る「力」と「思い」
～農業資源調査結果から～

発表者：宮城学院女子大学現代ビジネス学科3年「ビジネス課題研究」
宮原研究室 調査メンバー

- 鬼首の畑/佐々木真優
- 中山平の畑/菅原佳乃、菅原満帆
- 川渡の畑/森口亜美、菅原美愛

8月23日からの3日間、3地区9軒の農家の畑を踏査しながら、野菜について「いつ、何を、どのくらい作っているか等」の聞き取りを行いました。その調査結果や感想を発表します。



セッション2

■水産業の「新3K」を目指す若者達の取組み
～地域を支えるフィッシャーマンの育成～

※「新3K」とはカッコいい、稼げる、革新的の3つのKを指す。

発表者：Fisherman Japan

- 女川の銀鮭漁師/鈴木真悟
- 若者就労支援担当/高橋由季
- 消費者向け販売担当/藤澤明弘

フィッシャーマン・ジャパンは、震災後の石巻で「未来の世代が憧れる水産業」を目指して、若手漁師により立ち上げられました。漁師の育成やシェアハウス運営等による若者就労、販路開拓など様々なプロジェクトを展開しています。



セッション3

■ディスカッション
テーマ「山のCSAと海のCSFの可能性」〔仮題〕

山と海の生業を盛り上げるために「担い手」「支え手」として何ができるかについて、会場をまじえての意見交換を行います。

※「CSA」はCommunity Supported Agricultureの略で「地域支援型農業」のこと。地域が農家を支援し、農業と安全安心な食を守る仕組みをいう。「CSF」は、その漁業・水産業（Fishing industry）版。

若者の参加大歓迎

総合コーディネーター：中川恵（山形県立米沢女子短期大学 講師）

とき

2018年 11月11日（日）13:30～16:00

ところ

鳴子早稲田棧敷湯 会議室

宮城県大崎市鳴子温泉新屋敷124-1
Tel.0229-83-4751

- ▶参加費無料
- ▶申込み不要
- ▶定員30名



自家用車の方は、湯めぐり駐車場をご利用ください。

●お問い合わせ先

プロジェクト鳴子CSA

事務局：NPO法人鳴子の米プロジェクト

〒989-6832 宮城県大崎市鳴子温泉字星沼77-84

TEL/0229-29-9436 FAX/0229-29-9437

E-mail/komepro181@yahoo.co.jp

「プロジェクト鳴子CSA」は、地域と農家がつながり支え合う「鳴子型CSA」を推進する組織として立ち上げました。トヨタ財団からの助成を受けながら、米や野菜・加工品を予約購入してもらった仕組みをつくるとともに、買い物弱者といわれる地域の高齢者に、農産物を配達する活動も行います。そして、この事業が若者の新しい仕事として雇用創出につながることを目指します。